

🚩単元目標 できることを伝え合おう。

【略語】MPD = My Picture Dictionary

| 時 数 | めあて・到達目標・ 主な表現 | Warm-up (チャンツ・歌・Small Talk・前時の復習など) | 活動 1 (導入) | 活動 2 | 活動 3 | 活動 4 or 予備活動 |
|--------|---|---|---|--|---|---|
| 1 | <div>めあて</div> だれがどのようなことをできるか聞き取ろう。 <div>到達目標</div> (5 年生) can の文を含む会話を聞いて、内容を理解することができる。 <div>(6 年生) can の文を含む会話を聞いて意味を思い出し、自分ができることを伝えることができる。<div>主な表現</div>I can</div> | <div>【8 分】 p.18 Let's Chant ①・②、p.21 Small Talk</div> <div>・復習として、前単元の Let's Chant ①・②をそれぞれ 1～2 回歌う。</div> <div>・指導者は、各児童と以下のような会話をする。<div>T: When is your birthday, S1?<div>S1: My birthday is December 2nd.<div>T: What do you want for your birthday?<div>S1: I want a new video game.</div></div></div></div></div> | <div>【10 分】 p.28～29 Listen and Think</div> <div>・p.28～29 のイラストを見せ、場面や対話内容を推測させる</div> <div>・映像を視聴し、場面の順に番号を○に記入させる。</div> <div>・どこで、誰が、何をしているかなど、各場面の概要を確認する（内容が大まかに分かればよい）。</div> <div>・単元目標と本時のめあてを確認する。</div> | <div>【7 分】 p.30 Let's Watch</div> <div>・映像を再生し、どんなことを話しているか 5 年生にたずねる（6 年生には、5 年生が can の意味に気づくまで待つように指示する）。</div> <div>・全員で can の意味を確認する。</div> <div>・本時の目標を確認する。</div> <div>※can の意味に気づかない児童がいる場合は、指導者ができることをジェスチャー付きで言うなど、ヒントを与える。</div> | <div>【8 分】 p.28 Let's Chant ①</div> <div>1 回目（聞く）<div>2 回目（口パク）<div>3 回目（声に出して言う）</div></div><div>※6 年生には自分ができることを I can に続けて言うように指導し、5 年生には 6 年生が何を言ったか考えさせる。</div></div> | <div>【12 分】p.36 Sounds and Letters</div> <div>・「形のにている大文字」について、どこが似ているかを考えさせる。</div> <div>・空中に書かせる。</div> <div>・教科書に書かせる（書く時は、必ず文字の名前を言いながら書くように指導する）。</div> <div>・同様の手順で、p.36 の 4 つのコーナーを指導する。</div> |
| 2 | <div>めあて</div> ①お互いのことをよく知るために、できることをたずね合おう。②世界の人と理解し合うために、ジェスチャーなどについて考えよう。 <div>到達目標</div> (5 年生) Can you ...? の文を含む会話を聞いて、内容を理解することができる。 <div>(6 年生) Can you ...? の意味を思い出し、できることについて質問に答えることができる。<div>主な表現</div>Can you ...?</div> | <div>【8 分】 挨拶と、p.28 Let's Chant ①</div> <div>・児童どうしで How are you? と挨拶させる。</div> <div>・チャンツを通して前時の表現を思い出させる。</div> | <div>【5 分】 p.31 Small Talk</div> <div>・5 年生に Can you ...? の意味を気づかせるために、指導者と 6 年生で以下のようなやり取りを行う。<div>例) サッカーが得意な 6 年生に<div>T: Can you play soccer?<div>S1: Yes, I can.<div>T: You can kick well. You can run fast!<div>S1: Thank you.</div></div></div></div><div>・全員で Can you ...? の意味を確認し、本時のめあてを確認する。</div></div></div> | <div>【10 分】 p.28 Let's Chant ②</div> <div>・1 回目（聞く）→2 回目（口パク）→3 回目（声に出して言う）、の手順で練習させる。</div> <div>・チャンツに出てきた動作（swim / cook / fly / speak English）について、できるかどうかペアでたずね合わせる（4 つ全部ではなくいくつかを選択でもよい）。</div> | <div>【10 分】 p.34～35 Over the Horizon</div> <div>文化探検、フカボリ！、日本探検、ことば探検のうち、1～2 つの活動を行う（残った活動は次年度に指導する）。</div> | <div>【12 分】p.37 Sounds and Letters</div> <div>・p.37 上部で 4 つのグループの特徴を確認し、「くるりんグループ」の 8 つのアルファベットの名前を言いながら空中に書かせる。</div> <div>・教科書に書かせる。</div> <div>・同様の手順で、p.37 の 4 つのコーナーを指導する。</div> |

| 時 数 | めあて・到達目標・ 主な表現 | Warm-up (チャンツ・歌・Small Talk・前時の復習など) | | 活動 1 (導入) | 活動 2 | 活動 3 | 活動 4 or 予備活動 |
|--------|---|--|---|---|--|--|---|
| 3 | <div>めあて</div> できることを友達と伝え合おう。 <div>到達目標</div> (5～6 年共通) できることをたずねたり、伝えたりすることができる。 <div>主な表現</div> 第 1～2 時で扱った表現すべて | <div>【8 分】</div> 挨拶と、p.28 Let's Chant ①・② | | <div>【5 分】</div> p.30 Let's Watch | <div>【13 分】</div> p.30 Let's Listen 1、Let's Try 1 | <div>【13 分】</div> p.31 Let's Listen 2、Let's Try 2 | <div>【6 分】</div> p.33 Your Goal |
| | | ・児童どうして How are you? と挨拶させる。 ・チャンツを通して前時までの表現を思い出させる。 | | ・映像を視聴後、誰が何をたずねているのかを確認する（早紀がソフィアにリコーダーを吹けるかたずねている）。 ※第 1 時にも視聴した映像なので、時間をかけすぎない。 ・本時のめあてを確認する。 | ・紙面の指示に従って各活動を行う。 ・Let's Listen 1 では、人物名と選択肢の意味と読み方を確認してから問題音声聞かせる。 ※各動作のジェスチャーをさせながら音読させるとよい。 | ・紙面の指示に従って各活動を行う。 ・Let's Listen 2 では、キーワード (walk / swim / fly / jump) の意味と読み方確認してから問題音声聞かせる。 ※各動作のジェスチャーをさせながら音読させるとよい。 | ・Your Goal モデル映像を視聴させ、会話の概要を確認する。 ・次時に「できることカード」を作成するので内容を考えておくようにと予告する。 |
| 4 | <div>めあて</div> おたがいのことをよく知るために、できることを友達と伝え合おう。 <div>到達目標</div> (5～6 年共通) 「できることカード」を使って、自分や相手のできること・できないことを伝え合うことができる。 <div>主な表現</div> 第 1～3 時で扱った表現すべて | <div>【5 分】</div> 挨拶と、p.31 または p.33 の Small Talk | <div>【7 分】</div> p.32 Step 2 | <div>【8 分】</div> p.32 Step 1 | <div>【8 分】</div> p.32 Step 2 | <div>【10 分】</div> p.33 Your Goal | <div>【7 分】</div> p.38 Check Your Step 1 の Hop |
| | | ・児童どうして How are you? と挨拶させる。 ・Can you ...? を使った Small Talk を行う。 | ・MPD p.48 のローマ字表（ヘボン式）を参考にしながら p.32 下部の 4 線に大文字と小文字で名前を丁寧に書かせる。 ・指導者は、児童が正しく書くことができるか確認する。 | ・Step 1 モデル映像を視聴させ、意味を確認する。 ・本時のめあてを確認する。 ・映像を見ながらロパクで練習した後、声に出してブライアン のせりふをすらすら言えるようになるまで練習させる。 ・会話練習映像を視聴し、練習したブライアンのせりふを言わせる。 | ・「できることカード」を作成させる。 ・ペアになり、できることを伝えたりたずねたりする練習をさせる。 ・表現例 (That's OK. 「気にしないで」) の意味や発音を確認する。 | ・Your Goal モデル映像を視聴させる。 ・会話の概要を確認する。 ・映像を見ながらロパクで練習した後、ブライアン・明菜・七海役に分かれて、英文をすらすら言えるようになるまで練習する。 ・「できることカード」を使って、自分や友達のできること・できないことを伝え合う。 ・時間があれば、「Before / After」や、「Enjoy Communication のふり返り」を行う。 | 音声聞き、Unit 1～3 の既習表現を使ってどんなことを伝えようとしているのか、大まかな内容を確認する。時間があれば、Step や Jump にも取り組ませる。 |

※時間があれば、予備活動や割愛した学習活動を行う。／※グレーで塗られた欄は本単元のゴールとなる言語活動なので割愛しないこと。